

秋の学びを始めませんか

飾り結び、ガラス絵、花文字の講座を八日市場公民館で開催します。いずれの講座も、申込期間は10月20日(日)までです。

楽しい花結び教室

古来より伝統工芸として発展してきた「飾り結び」。奥深い「結び」の文化を、簡単な作品づくりを通して体験してみませんか。
 日時：11月24日(日)13時30分～16時30分
 定員：10人(申し込み順)
 参加費：600円程度(材料費)

楽しいガラス絵教室

ガラス板にペンで線画を描き、色を塗れば完成。誰でも簡単に、ステンドグラス風の素敵な絵画が出来上がります。

日時：①11月19日(火)②12月17日(火)③1月21日(火)の各回9時30分～11時30分(全3回)
 定員：20人(申し込み順)
 参加費：500円程度(材料費)

吉祥花文字教室

中国発祥のカラフルな文

字アート。「吉祥絵柄」と呼ばれる、縁起の良い意味が込められた絵を組み合わせ、文字を描いていきます。

日時：①11月5日(火)②19日(火)③12月3日(火)の各回13時30分～15時30分(全3回)
 定員：10人(申し込み順)
 参加費：初回1000円程度、2回目以降300円程度(いずれも材料費)

申し込み

申込期間中の8時30分～17時に申し込んでください。電話での仮申し込みも受け付けますが、期間内に申込書の提出が必要ですよ。

申請八日市場公民館
 ☎72・0735(月曜休館)

古代の暮らしを学びに行こう!

今回の移動教室は、36年ぶりにリニューアルオープンした国立歴史民俗博物館を訪れます。旧石器、縄文、弥生、古墳、古代と、各時代が一堂に会します。

◆日時
 11月14日(木)9時～16時
 ※雨天実施。

◆行先
 国立歴史民俗博物館(佐倉市)

◆定員
 30人(市内在住・在勤の人)

公民館移動教室

◆参加費

350円(当日集金)

◆申し込み

参加申し込みは、10月20日(日)まで、電話でのみ受け付けます。受付時間は8時30分～17時です。申し込みが定員を超えた場合は抽選を行い、その結果は10月末日までに申込者全員に郵送します。

申請八日市場公民館

☎72・0735(月曜休館)

飯倉を歩く

出羽三山供養塔

匠瑳探訪

161

「出羽三山」は、山形県鶴岡市にある羽黒山、月山、湯殿山を言い、千葉県は関東地方でもこの三山信仰が最も盛んな地域とされています。

市内では旧八日市場市域で江戸時代の「出羽三山供養塔」が10基確認されています。このうち7基には「月山 湯殿山 羽黒山供養塔」と刻まれ、他の3基は三山に「秩父 西国 坂東」の百観音霊場が加えられています。

供養塔は、東小笹、長谷、大浦、椿、川向の各村で建てられ、側面などに造立年月、関係者名が刻まれています。

今回紹介する供養塔は飯倉・千手院に隣接する道端の石造物群の中にあります。寛政12(1800)年個人造立のものや、安政6(1859)年8月造立の塔には飯倉村44人の名前があります。この人々は「三山講員」とみられ、何人かが代表して

三山にお参りしたのでしよう。市内からは「道中記」などは見つかっていませんが、県内には40日近い日数を掛けて三山を参拝したという報告もされています。

出羽三山神社は昨年、「三神合祭殿」が再建200年を迎えました。市内の出羽三山供養塔は1800年代造立のものが多いと見られます。出羽三山が中心の羽黒山に合祭されたことも遠方からの参拝を進めたのかもしれない。

市内の供養塔は、200年前からの出羽三山信仰の足跡を伝えています。

【訂正とおわび】

本紙9月号掲載の記事で、椿村下が「椿海村」とあるのは、「春海村」の誤りでした。訂正し、おわびします。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

副秘書課広報広聴班 ☎73・00

80



千手院(飯倉)近くに建つ出羽三山供養塔

文芸コーナー

短歌

小泉泰清 推薦

朝起きの妻は三面鏡を見て

三日月ほどの眉を書き込む

椎名 昭雄

驚きの眼をする猫に虹映える

恐さ覚えし令和の夕立

大木 洋一

葉鶏頭五種の色合いそれぞれに

引き立てあいて花壇にぎわす

古谷由美子

カーテンの陰に隠れし蜂見つけ

一撃外れ反撃危うき

高橋百合子

夏祭り部活で鍛えた孫の腕

はにかみ装う祭り半天

鈴木 和子

寝たままでラジオ体操聴きながら

体内時計の針動き出す

依知川雅一

展望に登ればぐるり広い海

「楽しい」と優太歓声をあげる

鈴木とも子

川口城司 推薦

作柄は皆よし稲穂そよがせて

海からやはき風吹きわたる

渡辺 重雄

自生せし庭の鉄砲百合ここだ咲く

清楚な姿清しきかほり

石田 秀子

乗客はわれのみのバスワイパーに

雨を振り分けひたすら巡る

稲葉 雪子

俳句

高安せい子 推薦

鳴くものに草は無数の露宿す

日暮れより雨はしづかにつれさせ

椿 和枝

ゆっくりとすとんと秋の入日かな

遠近に掃苔の人靄の中

光瀬甲江子

特産の大きな梨の手にあまる

老の字は笑顔遠しと書くのかな

岩井 やす

胸少し張って散歩や露の朝

コンバイン苦戦の跡の泥田かな

無造作に鯛盛られる浜の市

戦いの熄みし日のあの雲の峰

大川 宣子

川柳

勝又康之 推薦

朝刊で先ず目にするはテレビ欄

電車内以前新聞今スマホ

江波戸京子

新聞はチラシばかりが増えてる

保存紙の昭和の記事を読み耽る

鶴澤 澄子

新聞で気付いた両目白内障

新聞は知識高める先生よ

新井 信一

トキメキが動悸と知るや医者へ行く

ピョコピョコと

常世田やす子

チビガエルたち跳び草刈れず

岡田けい子

川口城司 推薦

石田 津

おすすめの本

『1964東京五輪ユニフォームの謎
消された歴史と太陽の赤』
安城寿子／著 光文社

「日の丸カラー」の開会式用ユニフォームは誰がどのような思いでデザインしたのか？気鋭の服飾史家が、その謎を解き明かします。

『ヴァレグロ オリンピック金メダルホースの軌跡』
カール・ヘスター／著 千本木倫子／訳
エクイネット(発行) メディアバル(発売)

ヴァレグロは、ロンドン・リオ五輪で金メダル、その他の大会でも優勝したチャンピオンホース。生きた芸術ともいえる、その感動の軌跡を美しい写真でご堪能ください。

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



●休館日…3日(木)・15日(火)・毎週月曜日 ●祝日開館日…22日(火) 17時まで
※11月4日(月)～7日(木)は図書館システムの更新に伴い臨時休館します。

☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

読書週間

文化の日を中心とした10月27日から11月9日の2週間は、読書週間です。第73回となる今年の標語は「おかけり、菜の場所で待ってるよ」です。なお、10月22日(火)から11月3日(日)まで、貸出期間を3週間に延長します。一般書・雑誌は何冊でも貸し出し可能です。図書館で本があなたを待っています。

体育の日

体育の日は、1964年10月10日に第

18回オリンピック東京大会の開会式が行なわれたのを記念して、1966年に制定されました(現在は10月の第2月曜日)。オリンピックに関する本(『3つの東京オリンピックを大研究』岩崎書店・2018年・のさか図書館所蔵)などで予習して、東京2020に備えませんか。

10月の「おはなし会」

★八日市場図書館

毎週土曜日14時から約30分間

★のさか図書館

第4土曜日10時30分から約30分間